

(19) 日本国特許庁(JP)

## (12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第3749934号  
(P3749934)

(45) 発行日 平成18年3月1日(2006.3.1)

(24) 登録日 平成17年12月16日(2005.12.16)

(51) Int.C1.

F 1

B 65 H 35/07

(2006.01)

B 65 H 35/07

E

請求項の数 3 (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平9-505802  
 (86) (22) 出願日 平成8年6月5日(1996.6.5)  
 (65) 公表番号 特表平11-508866  
 (43) 公表日 平成11年8月3日(1999.8.3)  
 (86) 國際出願番号 PCT/US1996/008888  
 (87) 國際公開番号 WO1997/003011  
 (87) 國際公開日 平成9年1月30日(1997.1.30)  
 審査請求日 平成15年5月13日(2003.5.13)  
 (31) 優先権主張番号 08/501,300  
 (32) 優先日 平成7年7月12日(1995.7.12)  
 (33) 優先権主張国 米国(US)

(73) 特許権者  
 スリーエム カンパニー  
 アメリカ合衆国55144-1000ミネ  
 ソタ州 セント・ポール、スリーエム・セ  
 ンター  
 (74) 代理人  
 弁理士 青山 葉  
 (74) 代理人  
 弁理士 伊藤 晃  
 (72) 発明者  
 サミュールソン, ブルース・イー  
 アメリカ合衆国55133-3427ミネ  
 ソタ州 セント・ポール、ポスト・オフィ  
 ス・ボックス33427

審査官 蓮井 雅之

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】ハンガーシートとテープディスペンサーとの組合せ

## (57) 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

ポリマー材料から成形されて刃支持部を具備する枠と、  
 テープを横方向に切るのに適した切断エッジを有する切断刃と、  
 該切断刃を該枠に固定するために該切断刃と該枠の該刃支持部との間に係合する刃取付手段とを具備するテープディスペンサーと、  
 第1及び第2の対向端と、該第1の端に隣接する第1の端部と、セールスディスプレイ区域にある釘に該テープディスペンサーをつるすために該釘を受ける開口部を有して該第2の端に隣接する第2の端部とを有するハンガーシートとの組合せ体であって、  
 該刃支持部は、内面を有するディスペンサーの壁と、略同一平面上の末端面を有する該内面から間隔をおいた複数の突起物とを具備し、

該ハンガーシートの該第1の端部は該突起物を受ける開口部を有し、該シートの該第1の端部は該突起物の周りにあり、

該取付手段は該末端面に沿って該刃を取り付け、該ハンガーシートの該第1の端部は該切断刃と該内面との間にすることを特徴とする組合せ体。

## 【請求項 2】

前記枠は端を有し、前記カッター支持部の前記突起物は該端に沿って間隔をおいて位置決めし、前記刃の前記切断エッジは該端と平行であり且つ該端に配置し、前記ハンガーシートの前記第2の端部は該切断エッジ及び該枠の該端を越えて突出することを特徴とする、  
 請求項1記載の組合せ体。

**【請求項 3】**

前記ハンガーシートの前記第1の端部は、該ハンガーシートを前記枠から容易に取り外せ  
るよう分離することができる該ハンガーシートの一部を画定する少なくとも一つの脆弱路  
を有することを特徴とする、請求項1記載の組合せ体。

**【発明の詳細な説明】****技術分野**

本発明は、一般にカードストック製で商標及び製品情報を印刷したハンガーシートに関し  
、ハンガーシートは手で操作するテープディスペンサーとテープロールとのアセンブリに  
係合する、セールディスプレイ区域の釘につるす。そのようなハンガーシートは、一般に  
、テープを出す前に使用する前にテープディスペンサー及びテープロールのアセンブリか  
ら取り外される。  
10

**背景技術**

長年にわたり、ミネソタ州、セントポールのミネソタ マイニング アンド マニュファ  
クチャリング カンパニー（「3M」）は、スコッチ（登録商標）ブランド C-147  
ディスペンサーという商品名で、米国特許第4,358,328号明細書記載のテープディ  
スペンサーに類似する簡易型または使い捨ての先行技術のテープディスペンサーを販売し  
ている。このテープディスペンサーは、ある長さのテープを手で引き出すテープロールを  
支持し、出した長さのテープを横方向に切ることができる刃支持部上に切断刃を含む。商  
標及び製品情報を印刷したカードストック製のハンガーシートをテープディスペンサーに  
取り付けて販売される。ハンガーシートは、音波溶接によってディスペンサーの枠に取り  
付けられ第1の端部と、テープディスペンサーをセールディスプレイ区域の釘につるすために  
釘を受ける開口部を有するディスペンサーの刃支持部から突出する第2の端部とを有  
する。ハンガーシートはそれら端部間で孔があいており、第2の端部は一般に孔のライン  
に沿って取り外され、ディスペンサーからテープを出す前に、購入者が捨てる。  
20

1995年11月21日に発行された米国特許第5,468,332号明細書には、ほぼ上  
述の型の改良されたテープディスペンサーが記載され、上述の型のカードストックのカ  
ードまたはハンガーシートをそのテープディスペンサーに取り付けることができる新規手段  
が記載されている。そのハンガーシート取付手段は、ディスペンサーの枠上に形成された  
間隔をあいて一直線に位置決めした皿状の対向する一対の取付部においてカード部分の係  
合を含む。  
30

**発明の開示**

本発明は、1995年11月21日に発行された米国特許第5,468,332号明細書に  
記載され、1995年9月26日に発行された意匠特許第D-362,684号に例示さ  
れたディスペンサー（ただし、それに限定されないものとする）等のディスペンサーにカ  
ードまたはハンガーシートを取り付けるための改良された手段を提供する。

本発明によると、切断刃が取り付けられる刃支持部付成形されたポリマー製の枠を含むテ  
ープディスペンサーと、ディスペンサーの枠と係合する第1の端部及びテープディスペン  
サーをセールディスプレイ区域の釘につるすことができるよう釘を受ける開口部を有し  
てディスペンサーから突出する第2の端部とを有するハンガーシート（例えば、カードス  
トック製で商標及び使用情報を印刷したもの）との組合せが提供される。ディスペンサー  
の刃支持部は、ディスペンサーの壁から突出する間隔をあいた複数の突起物を含み、その  
突起物は略同一平面上にある末端面を有する。ハンガーシートの第1の端部は突起物を受  
ける開口部を有し、シートの端部は突起物の周りにあり、刃は突起物の末端面に沿って取  
り付けられ、ハンガーシートの第1の端部は切断刃と突起物を支持する壁の内面との間に  
ある。  
40

好ましくは、カッター支持部の突起物は、細長く、その端に対して直角をなし枠の端に沿  
って突起物の長さで間隔をあいて位置決めし、刃の切断エッジはその端と平行に配置され  
、ハンガーシートの第2の端部は切断エッジ及び枠のその端を越えて突出する。

ハンガーシートの第1の端部は、1つ以上の脆弱路（例えば、孔のラインまたはハンガ  
ーシートの薄い部分）を有することができ、それに沿ってハンガーシートの一部が分離しま  
50

たは裂けて、ハンガーシートが枠から取り外し易くなる。例えば、そのような脆弱路はハンガーシートの第1の部分の開口部を介してハンガーシートの横方向に延在するため、ハンガーシートを2つの部分に容易に裂くことができ、これらの部分をディスペンサーから取り外すことができる。あるいは、ハンガーシートの第1の端部は、開口部を受ける突起物からハンガーシートの隣接する端へ略平行な脆弱路を有し、その平行な脆弱路に沿ってハンガーシートは裂けるため、ハンガーシートの第1の部分は突起物の周りから引くことができ、ハンガーシート全体をテープディスペンサーから分離することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

本発明を添付の図面を参照して更に説明するが、図面中の同一部分には同一の参照符号を付す。

10

図1は、本発明のテープディスペンサー、テープロール及びハンガーシートの組合せの斜視図である。

図2は、図1に示す組合せの底面図である。

図3は、図1に示す組合せの底面図であるが、ハンガーシートの詳細を示すためにテープディスペンサーの切断刃は取り除いてある。

図4は、おおよそ図1の4-4線に沿って切った図1の組合せの断面図である。

図5は、図3に類似した底面図であり、組合せのハンガーシートの変形例を示す。

#### 好適な実施態様の説明

図1から図4を参照すると、芯13に巻きつけたテープの供給長を含むテープロール11用のテープディスペンサー10と、ディスペンサー10用のハンガーシート8との、本発明による組合せ9が示される。

20

ロール11のテープは、例えば、ミネソタ州、セントポールのミネソタマイニングアンドマニュファクチャリングカンパニーによって包装テープまたは郵送テープとして販売され、長手方向に延在するガラス纖維フィラメントを含む透明なまたは淡褐色のポリプロピレン裏地あるいはポリマー裏地上の乾燥感圧接着剤の塗膜を含む2インチ幅テープの一つである。

ディスペンサー10は、ポリマー材料（例えばポリスチレン）から一体成形される枠14と、枠14に取り付けられる薄い金属板または刃18とを含む。金属板または刃18は、略三角形の歯の列を具備する略水平なテープ切断エッジ16を画定する手段を提供して、鋭くなり過ぎずにテープを横に切るため、ディスペンサー10を使用する人を傷つけるという不当な危険を発生させることがない。

30

ディスペンサー10の枠14は突出するカッター支持部20を具備する。カッター支持部20は、わずかに湾曲するがほぼ平坦で平行な外面及び内面15、17と、壁の内面17から突出して枠14の端19に対して直角をなして配置される複数の間隔をおいた細長いリブまたは突起物22とを含む。突起物22は、略同一平面上にある末端面21を有し、その上に刃8が刃取付手段によって取り付けられ、切断エッジ16は枠14の端19にある。刃取付手段は、末端面21から突出し、刃18の縫り嵌め開口部を介して延在する支柱23によって提供され、支柱23は突起物22の反対側にある刃18の面に係合する常温形成ヘッド25を有する。

ハンガーシート8は、突起物22を受ける開口部を有するハンガーシート8の第1の端51に隣接する第1の端部50を含み、シート8の第1の端部50は突起物22の周りにある。ハンガーシート8は、シート8の第2の端53に隣接して、セールディスプレイ区域の釘にハンガーシート8及びテープディスペンサー10の組合せをつるすために釘を受ける略三角形の開口部54を有する第2の部分52を含む。

40

刃取付手段は突起物22の末端面21に沿って刃18を取り付け、ハンガーシート8の第1の端部50は切断刃18と内面17との間にあり、ハンガーシート8の第2の端部52は刃18の切断エッジ16及び枠14の端19を越えて突出する。突起物22は、刃18を枠14の端19に内面17から、ハンガーシート8の厚さ（例えば0.015インチ）よりも大きい距離（例えば0.020インチ）だけ間隔をおいて配置する大きさであるため、ハンガーシート8はそのスペースで圧締めされない。

50

ハンガーシート 8 の第 1 の端部 50 は、分離するかまたは裂けて枠 14 からハンガーシート 8 を容易に取り外すことができるハンガーシート 8 の一部を画定する脆弱路または孔 56 のラインを有する。図示するように(図3参照)、孔 56 のラインはハンガーシート 8 の第 1 の端部 50 にある開口部を介してハンガーシート 8 の横方向に延在し、それを介して突起物 22 は突出する。ハンガーシート 8 をテープディスペンサー 10 から取り外すためには、使用者はただ第 2 の端部 52 が孔 56 のラインに沿って二つの部分に分離するか裂けるまで引くだけでよい。その後、ハンガーシート 8 が分離してなるこれらの部分はディスペンサーに取り付けられることはなく、捨てられる。

図 1 ~ 4 に示す孔 56 のラインの代替物を図 5 に示す。図 5 に示すように、ハンガーシート 8' の第 1 の端部 50' はハンガーシート 8' の第 1 の端部 50' にある開口部から略平行な脆弱路または孔 58 のラインを有し、それを介してハンガーシート 8' の隣接する第 1 の端 51' に突起物 22 は突出する。このような孔 58 のラインは、孔 58 に沿ってハンガーシート 8' を裂くことによって分離してディスペンサー 10 の枠 14 からハンガーシート 8' を容易に取り外すことができるハンガーシート 8' の一部を画定する。ハンガーシート 8' の第 2 の端部 52' を引いてディスペンサー 10 から分離すると、ハンガーシート 8' は孔 58 のラインに沿って裂けるか分離するかし、ディスペンサー 10 から引くことができる。孔 58 のラインを使用することにより、ハンガーシート 8' はディスペンサー 10 から分離した後も一個のままであり、それによって廃棄が容易になる。

ハンガーシートは孔を設げずに作製することもでき、一般に突起物 22 を受ける開口部の間で裂け、ハンガーシートの第 2 の端部が引かれて、ハンガーシートをディスペンサー 10 から分離する。

一般に、ハンガーシート 8 はカードストック(例えば 0.014 インチ厚さの堅い漂白クラフト紙)製であり、商標及び使用情報を提供する印刷表示を両面に有する。

ディスペンサー 10 の枠 14 は、カッター支持部 20 の両エッジに沿って取り付けられ、切断エッジ 16 及び支持部 20 に対しあよそ直角をなして配置される略平行で向かい合う側壁部 26 を含む。枠の側壁部 26 の略 C 型部 27 は、側壁部 26 を介して開口部の周辺部の周りによる側壁部 26 の内面から互いに突出する枠 14 の略 C 型ハブ部 28 を支持する。ハブ部 28 は、テープ切断エッジ 16 に平行な軸 29 に対して弓形であり、軸 29 の周りを回転するように芯 13 の円筒形内面を回転可能に支持する周面を提供し、刃 18 の反対側にある芯 13 の側で芯 13 の開口部の両端内に突出し、テープロール 11 を回転可能に支持する。側壁部 26 は弾性的に可撓性がありハブ部 28 とカッター支持部 20 との間にあるため、弾性的に曲がることができ、ハブ部 28 の間にテープロール 11 を位置決めして、その間から空の芯 13 を取り除くことができる。

枠 14 は、ハブ部 28 の軸 29 からある距離(例えば 1.38 インチ)にある側壁部 26 の隣接面から互いに向けて突出して対向する定位タブ部 30 を有するが、その距離は、切断エッジ 16 とハブ部 28 の軸 29 との間の距離(例えば 2.76 インチ)の 2 分の 1 のプラスマイナス 10 % 未満あるいはその程度である。定位タブ部 30 は、カッター支持部 20 に隣接し、且つ、ハブ部 28 の軸 29 に平行な軸に対して弓形であるかまたは円筒状に凸状である保持面 32 を有し、カッター支持部 20 から間隔をおいて配置されるため、第 1 の虚平面はハブ部 28 の軸 29 を介し、切断エッジ 16 は、定位タブ部 30 の保持面 32 に正接するハブ部 28 の軸 29 を介する第 2 の虚平面から少なくとも 12 度、好みくは 20 度から 70 度の範囲の角度で配置される(例えば図面では約 20 度である)。これら第 1 の虚平面及び第 2 の虚平面との間のスペースは、ディスペンサー 10 のいかなる部分によっても遮られない。

定位タブ部 30 は、隣接する側壁部 26 から、保持面 32 の反対側の定位タブ部 30 の側にある定位タブ部 30 の隣接端または内端へ延在するカム面 33 を有する。カム面 33 は、保持面 32 の反対側の定位タブ部 30 の側にあるテープロール 11 からテープを引き出し、テープは定位タブ部 30 の間及びその周りにガイドされて、ディスペンサー 10 と引き出されるテープとの間に相対運動が発生し、刃 18 の切断エッジ 16 でテープを横方向に切る。カム面 33 の長さ方向に沿ったカム面 33 の部分は、ハブ部 28 の軸 29 を通る

10

20

30

40

50

虚平面のカッター支持部 20 に隣接する面に対して、約 45 度よりも大きい角度、好ましくは約 50 度よりも大きい角度をなして配置される。これらの角度は、虚平面の面に対して垂直な面と対して寸法取りする。カム面 33 は水平でも弓形でもよく、水平及び弓形の部分を含むか、あるいは異なる軸に対して弓形である異なる部分を含むか、水平であり且つ虚平面に対して異なる角度で配置されるかである。また、カム面 33 の両端はハブ部 28 の軸 29 から同一距離または異なる距離に配置することができる。

定位タブ部 30 はテープ路に短い距離（例えば、ディスペンサー 10 が出す 2 インチ幅テープ用の路の両側の路に 0.33 インチ）だけ突出し、それによってカム面 33 により定位タブ部 30 の周りを動かす必要があるのはテープの幅の少ない割合（例えば、約 27%）のみである。このようにして、定位タブ部 30 の間隔をおいて隣接する端の間のスペースは、ディスペンサーが出すはずである 2 インチ幅テープの少なくとも 60%（例えば 73%）である。

枠 14 の弓形部 34 は切断エッジ 16 の反対側のカッター支持部 20 のエッジに結合してそこから突出し、テープロール 11 の周りに部分的に延在する。弓形部 34 は弾性的に可撓性があり、ディスペンサー 10 のテープロール 11 の周辺部に隣接して略円筒状の凹状面を有する。弓形部 34 は使用する人の掌中に収まり、テープをディスペンサー 10 から出すときにテープの回転ロール 11 から使用者の手に通常間隔をおき、テープロール 11 の周辺部と係合するよう圧入され、使用者がテープを切断エッジ 16 で切断したいときにディスペンサーからテープを引き出すのを中止する。弓形部 34 は、テープディスペンサーの使用者がテープ切断エッジ 16 の反対側を使用してテープを切ろうとするのを防止する。

カッター支持部 20 に隣接するディスペンサー 10 の枠 14 は、ハンガーシート 8 による開口部 54 の形状及び方向に類似した略三角形の開口部 40 を有する。開口部 40 によって、ハンガーシート 8 を取り外した後でディスペンサー 10 の保管用に所望されるように、ハンガーシート 8 を取り外す前でも後でもディスペンサー 10 を釘につるすことができ、あるいは、ハンガーシートの開口部 54 からと開口部 40 から交互につるすことによって釘にディスペンサーを縦位置に互い違いにかけて、それによって、すべてのディスペンサーをハンガーシート 8 を使用してつるすよりも数多くのディスペンサー 10 をその釘にかけることができる。

上述のように、孔 56 のラインに沿って裂くことによってディスペンサー 10 からハンガーシート 8 を取り外した後、使用者はディスペンサーを使用して、ロール 11 のテープからテープ長の端を引き、テープを貼る対象の品物にテープの端を貼り付け、その品物からディスペンサー 10 を引き離して所望の長さのテープを出す。テープ長の端が最初に保持面 32 に接着した場合、テープをその保持面 32 からはがして、保持面 32 と刃 18 の切断エッジ 16 との間のスペースにロール 11 からテープを引き出す。テープ長の端が最初にロール 11 に接着した場合（テープロール 11 が新しい場合）、使用者はその端をロール 11 の面から引くが、これは、切断エッジ 16 の反対側の定位タブ部 30 の側にある側壁部 26 と弓形部 24 の末端との間でもっとも容易に行われる。使用者はその区域でロール 11 からテープを引き出し続けることができるが、充分な長さのテープを引き出したときには、使用者はディスペンサー 10 の向きを変えて、テープに対して刃 18 の切断エッジ 16 を押しつけるため、エッジ 18 はテープを横方向に切断する。ディスペンサー 10 のこのような配向の間にかかるテープの張力は、カム面 33 を定位タブ部 30 の間及びその周りにあるテープの両エッジにガイドし、切断エッジ 16 がテープを切断する前に、保持面 32 と切断エッジ 16 との間のスペースにテープを位置決めする。テープを切断した後、新しく形成されたテープ端部は、保持面 32 に接触し剥離可能に接着するが、これは、保持面 32 の凸状湾曲と、ロール 11 に巻かれたときにテープの裏地にかかる応力によって発生する新しく形成されたテープ端部の相補的凹状湾曲とにより、容易に行われる。新しく形成されたテープ端部の保持面 32 への接着は、このようにして、別のテープ長が所望されるときに使用者によってテープ端部がはがされるまで、通常、保持される。

本発明の組合せは、一実施態様及びその変形例に関連して記載した。本発明の範囲を逸脱

10

20

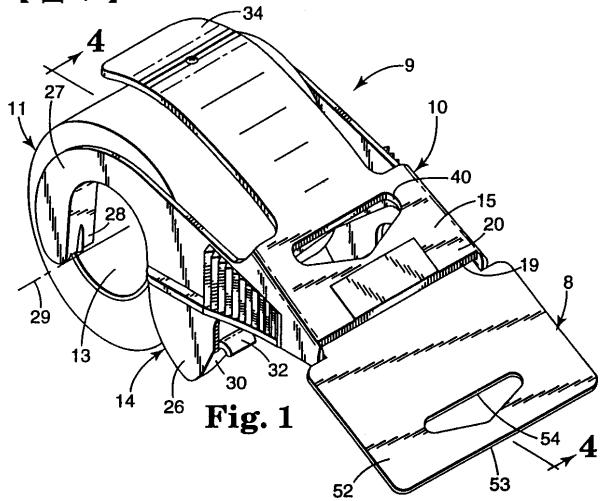
30

40

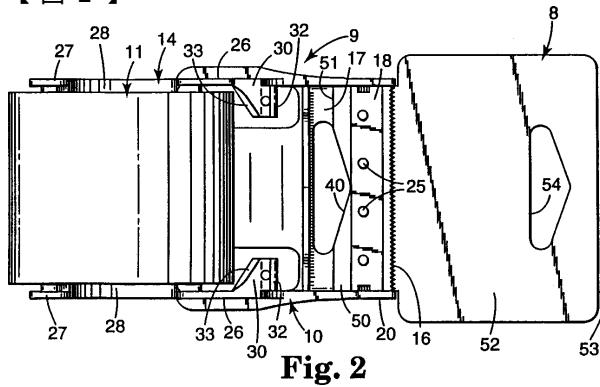
50

することなく記載の実施態様に変更及び修正を施すことができるることは当業者には明白である。従って、本発明の範囲は、本明細書に記載の構造に限定されるものではなく、請求の範囲の文言によって記載された構造及びそれらの構造の均等物によって限定されるのみである。

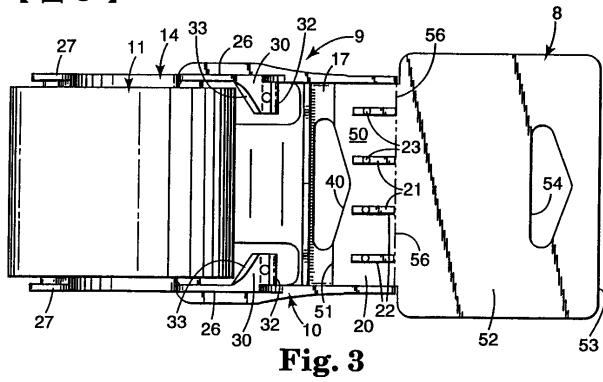
【 図 1 】



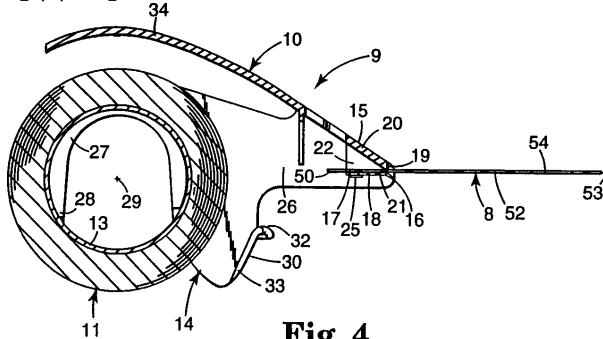
【 四 2 】



【 四 3 】



【 四 4 】



【図5】

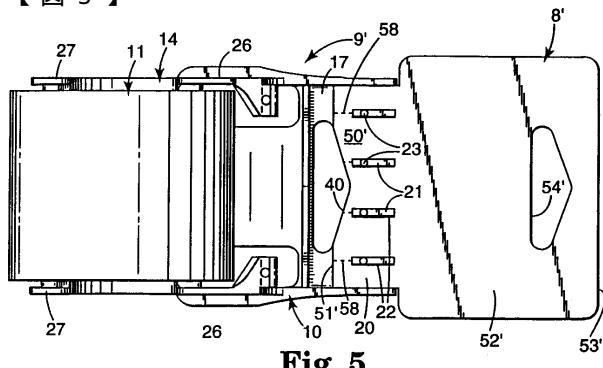


Fig. 5

---

フロントページの続き

(56)参考文献 米国特許第05468332(US, A)  
実開平01-065259(JP, U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B65H 35/07